

(特非) 北九州サステナビリティ研究所

日本における環境と女性・ジェンダーに関する事例集の作成とプラットフォーム構築

イベントの 延べ参加者数	100 人
活動掲載ホームページの ページビュー数	2,960 ビュー (平成 27 年度)
活動の全体目標 に対する達成度	80%



第 3 回意見交換会(平成 27.10 月 29 日～30 日長野県大町市)

◆成果と工夫したポイント

●成果

「事例集」(15 事例) 500 部印刷、英語版 30 部印刷。アンケート調査回答率 34%。全国 4 カ所での意見交換会とキックオフ・イベント、延べ 100 名参加。国際会議 (100 名) でジェンダー分科会を組織。

●工夫

ワールドカフェ方式で事例掲載団体が開催。他の団体が訪問するようにし、関係づくりと今後の活動につなげた。

課 題

①環境とジェンダーの関係についての理解が弱い。②環境とジェンダーの関係についての教材がない。③日本からの発信が弱い。④協働活動のためのプラットフォームがない。

目 標

女性のエンパワーメント・ジェンダー平等の視点にたった、日本の持続可能な開発・環境問題取組み事例集を作成、利用、発信する。この課題に関心を持ち、取り組んでいる人びとの情報共有と活動推進の場を構築する。

活動内容

女性のエンパワーメント・ジェンダー平等の視点にたった、日本の持続可能な開発・環境問題取組み事例集の日・英版を作成、利用・発信をした。セルフ・チェック・リストを作成、公開した。

全国 3 カ所で意見交換会とネットワークのキックオフ・イベントを開催。この課題に関心を持ち、取り組んでいる人びとの情報共有と活動推進の場を構築し、ホームページ等で周知した。持続可能な環境に関する国際会議でジェンダー分科会を開催した。



「環境活動における女性・ジェンダー事例集」
同英語版

達成できなかったこと

社会的関心を呼ぶような世論の喚起、関心の広がり、多数の参加によるイベントの開催、IT を使った魅力的な発信。原因は ICT の技能不足。

今後の展望

ICT を活用した既存の関係者の連携の持続・強化、活動の推進。追加事例の収集を通じてのつながりの拡大。